

【九和】 与和木

110 お地藏さん



与和木のお地藏さんは、府中（旧今治藩）八十八ヶ所第六十番札所で地蔵菩薩と弘法大師をお祀りしている。

地蔵菩薩は錫杖を持った立像で大変美しい。
また、ここは中村の医王寺の分院となっている。境内にはヒイラギの古木があり、葉にとげがなく滑らかな楕円をしている。若芽にはとげがあるのでヒイラギに間違いない。年をとると人間だけでなく植物もま



葉が円いヒイラギの古木



美しい地藏菩薩像

111 岩鼻のお地藏さん



府中第六十番札所のお地藏さんの下のコンクリート壁に、お地藏さんが祀られている。

現在は立派な二車線の道路になっているが、旧道は崖が迫り出していたため、交通の難所となっており、怪我人等が多く出たので、通行人の安全を祈って、お地藏さんが祀られたとので、現在でも地主さんをお祀りしている。

112 重茂山城跡



頂上から大西町の造船所が見える。



頂上付近に3つの祠がある。

重茂山は、玉川（旧越智郡）

と大西（旧野間郡）の境目にある山で、戦国時代の山城があった。峠から、徒歩30分ほどで頂上へ行ける。頂上には2つのピークがあり、それぞれ違う城主がいて、仲良く守っていたと言われる。

天正13年（1585）に豊臣秀吉の命をうけた小早川隆景の侵攻によって落城したとされる。越智郡の中世城郭で唯一、畝状堅堀の遺構が見られる。



113 三嶋神社



道路から左手に見えるこんもりとした森は三嶋神社。境内には、モッコクやシャシヤンボの古木があり、鎮守の森は、アラカシ・スギ・ヒノキなどの高木が茂っている。なぜか鳥居の前にバナナの木がある。

与和木三嶋神社は天平年間（729～745）に河野氏によって創建された。当初は四郎大明神、城大明神と呼ばれていたが、慶長9年（1604）三嶋神社と改められた。しかしながら、安政5年（1858）にできた鳥居には四郎大明神と刻まれている。